

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	AsianFrontier5号棟	階数	地上3F地下1F
建設地	福岡県北九州市八幡東区大字前田	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	0人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年2月 予定	評価の実施日	2012年2月1日
敷地面積	30,868 m ²	作成者	大山美衣
建築面積	1,761 m ²	確認日	2010年7月10日
延床面積	4,688 m ²	確認者	戸部篤子



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

環境品質 Q (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
外気冷房を主体とした施設計画	0	
Q1 室内環境 メンテナンス作業に対する照度環境を確保した計画	Q2 サービス性能 内外装に防汚性、耐候性の高い材料を採用した維持管理に配慮した計画 設備機器の二重化等による信頼性の高い計画	Q3 室外環境(敷地内) 建物配置、色彩等について周辺建物との調和を図った計画
LR1 エネルギー 外気冷房を主体とした施設計画	LR2 資源・マテリアル N 2 ガス消火を採用し、汚染物質含有材料の使用を回避した計画	LR3 敷地外環境 燃焼機器を一切使用せず、大気汚染へ配慮した計画

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい